

令和 2 年度

我(和)がまちづくり
(いしかわ地域の魅力創造まちづくり事業)

活動報告書

アバターのリモートコミュニケーションによる堅町謎解きゲーム Festival

Vtuber によるアバタークイズショー！

Vtuberによる
アバタークイズショー!
Vtuber プレディが出すクイズに挑戦！
答えられたら景品GET！
話しかけると反応するよ
石川まちづくり技術センター
×
DK art café
YouTube twitter

金沢工業大学 DK art café プロジェクト

1. 事業概要

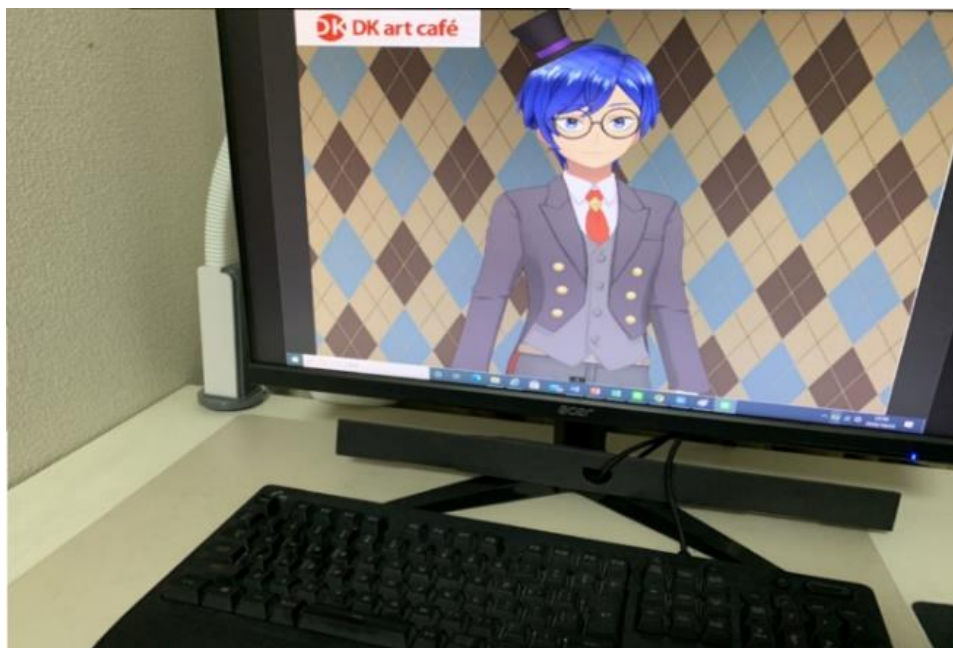
- 概要 Withコロナ対策事業として、豎町商店街にてバーチャルアイドルによる非接触のクイズ大会を実施
- 開催日 令和 3年 2月14日(日) 12:00 ~ 14:00
- 場所 金沢市豎町商店街
- 主催 DK art café プロジェクト
- 参加者 小学生 : 30名
保護者 : 30名
関係者 : 4名

2. 活動目的

金沢工業大学・地方創生・商店街活性化・DK art café プロジェクトは、金沢工業大学の特色ある課外活動「KIT オナーズプログラム」の一つで、地方創生を目指して金沢市豎町商店街の活性化や、学生の専門知識を活かした新規ビジネス企画・運営実務などの活動を取り組んでいる。

今回、コロナ禍における豎町商店街の活性化及び地域における非接触型イベントの有効性の検証のため、本事業を企画した。

子どもたちに感染状況の深刻度に関わらず、安全に楽しく地域活動やイベントに参加してもらうために、リモートとローカルを組み合わせ、話題性・新規性のある今までにない価値を持ったWithコロナ向けの地域イベントを創出する。



3. 開催記録




① Vtuber によるアバタークイズショー！






概要：Vtuber から出題される地域クイズに答えることで景品がもらえるという非接触のクイズ大会を実施

開催日：令和 3年 2月14日（日）

会場：金沢市竪町商店街

参加者：小学生30名、保護者30名、関係者4名

時間	内容
11:00	<p data-bbox="459 638 571 672">開催準備</p> <div data-bbox="459 728 901 1310"></div> <div data-bbox="925 728 1248 1310"></div> <p data-bbox="481 1332 1125 1400">オンラインミーティングアプリを使用し、自宅に待機している Vtuber とリアルタイムで会話ができるようにした。</p> <div data-bbox="459 1429 1173 1960"></div>

時間	内容
12 : 00	<p data-bbox="459 286 625 318">イベント開催</p> <div data-bbox="466 349 815 813">  </div> <div data-bbox="831 349 1225 813">  </div> <div data-bbox="466 835 828 1312">  </div> <div data-bbox="839 835 1331 1232">  </div> <div data-bbox="466 1339 1043 1776">  </div> <p data-bbox="485 1800 1315 1861">話しかけると反応し返事を返してくれる Vtuber「ブレディ」に、子どもたちは興味津々な様子であった。</p>
14:00	<p data-bbox="459 1935 625 1966">イベント終了</p>

4. 事業の成果

地域イベントにおいて、オンラインミーティングやアバターなどの技術を活用することで、非接触化を図ることができることが実証された。また、Vtuber というオンラインツールを用いて、子どもたちに親しみを持ってもらい、内容を工夫することで、地域の魅力を発信することや地域に活気を与えることにも有効であることが示された。

5. 参加者の声（感想・意見など）

子どもや若者は、「すごい」、「楽しい」、「面白い」など興味を示している反応がほとんどであった。

一方で、大人や保護者は「なにこれ？ AI？」など不信感を持つ人も少なからずいたが、「こんなこともできるのね」と関心を寄せて下さる声も多く頂いた。

6. 課題

ゲリラ的に行った場合、一目で何をしているのかを伝えるのが難しく、通りすぎてしまう人が多かった。事前にイベントの宣伝を行い、周知を図ることが必要であると感じた。

7. 今後の活動予定

今年度は、本事業のほかに DK art café プロジェクトとして、金沢市内の小学校と連携したプロジェクションマッピングのアートイベントや、小学生向けの理科の実験動画配信、地域のジュニアやシニアを対象とした DX（Digital Transformation の略。ICT により人々の生活をあらゆる面でより豊かに変化させる取り組み）の支援活動に取り組んできた。今後も金沢工業大学の強みを活かした地方創生の取り組みを展開していきたい。

また、今回の非接触型地域イベントについても、今年度の試行段階からより発展させ、来年度も開催していきたい。

8. おわりに

本事業により、非接触でのイベント開催を実現することができ、試行的な取り組みで

はあったが、豎町商店街の活性化の一助となることができた。今後もデジタル技術を活用し地域活性化に貢献していきたい。